
各研究会・検討会の 平成29年度実績及び 平成30年度活動計画

ふくしまロボット産業推進協議会

平成30年5月22日

内容に関するお問い合わせは・・・

福島県ロボット産業推進室 robot@pref.fukushima.lg.jp



ふくしまロボット産業推進協議会 平成30年度推進体制

○産学官連携の下、会員相互交流の活性化と技術基盤の強化に取り組み、福島県におけるロボット関連産業の集積と取引の拡大を図ることを目的に、平成29年5月22日設立。

○会員数:288(H30.5.22現在)

○会長:福島大学 高橋 隆行 教授

○事務局:福島県ロボット産業推進室

連携して事業展開

(一財)福島イノベーション・
コースト構想推進機構

○浜通り地域の復興・再生などを目的に平成29年7月設立

○ロボット関連産業の受注拡大を支援する**コーディネーターを設置予定**

○「Japan Robot Week」に**県内企業と共同出展予定**

ふくしまロボット産業推進協議会

廃炉・災害対応ロボット研究会 (代表:ハイテクプラザ所長)

- 業界に精通したコーディネーターによる受注等支援
- 関連展示会への共同出展
- 廃炉・災害対応ロボット関連技術展示実演会の開催
- マッチング会の開催
- 技術セミナーの開催

ロボット部材開発検討会 (代表:福島大学 高橋教授)

- 高橋教授による訪問・助言
- 県内企業の高い技術力をPR
- 企業ニーズとのマッチング

ロボット・ソフトウェア検討会 (代表:会津大学 屋代教授)

- 産学連携ロボット研究開発支援事業との連携
- ・会津大と県内企業との共同研究
- ・ソフトウェア技術者の育成
- ・RTCライブラリによる技術提供

【統合】医療・生活支援ロボット検討会
(代表:医療関連産業集積推進室)

ドローン活用検討会 (代表:ロボット産業推進室)

- ドローン活用の推進
- 社会実装に向けた検討
- 開発ニーズとのマッチング

福島県医療福祉機器 産業協議会

- 平成30年度からビジネス交流を主眼に再編
- 一本化を図るため、医療・生活支援ロボット検討会の取組を統合

取組を統合・相互に連携

ふくしまロボット産業推進協議会 コーディネーターによる受注等支援

- ・関連する**展示会への共同出展**
- ・**マッチング会**の開催
- ・**廃炉・災害対応ロボット
展示実演会**の開催

延べ19件の
受注実績！

廃炉・災害対応
ロボット研究会

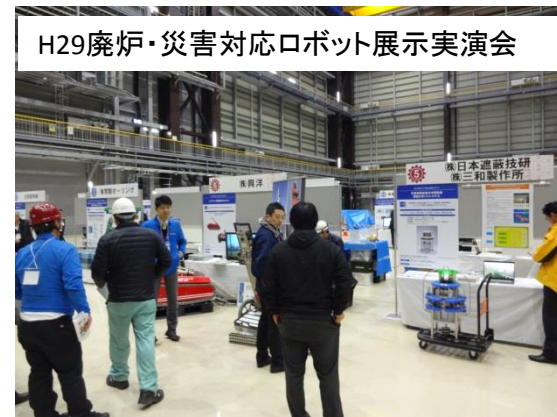
ロボット部材開発／ソフトウェア／
ドローン活用 検討会

平成30年度から新たに
コーディネーター設置
((一財)福島イノベーション・コースト
構想推進機構との連携)

・福島大学高橋教授を中心とする「**ロボット部材掘り起こし隊**」による企業訪問
→冊子「R・B・T」による**学会や
展示会等での情報発信**



H29国際ロボット展



H29廃炉・災害対応ロボット展示実演会

○コーディネーターによるマッチング等を進めるため、
企業訪問の受入等について御協力をお願いします。
※コーディネーターの派遣を希望する場合、事務局に
御連絡ください。



「株式会社」(医療機械) 廃炉PTFEパック
製造用シャワー・ワッシャー用回転部品

水中、海中廃炉用回転部品用PTFEパック
製造用ベアリング

冊子「R・B・T」



ふくしまロボット産業推進協議会
県内会員企業データベース



FUKUSHIMA ROBOT INDUSTRY
PROMOTION CONFERENCE
PREFECTURE MEMBER ENTERPRISES DATABASE

保存版

- ・**ロボット・航空宇宙
フェスタふくしま**での
商談・PR
- ・福島県医療福祉
機器産業協議会と
の連携による**ビジネ
スマッチング**

ふくしまロボット産業推進協議会 平成30年度行事等予定

月	行事等予定
5月	・平成30年度総会 (H30.5.22)
6月	
7月	・廃炉・災害対応ロボット研究会 第1回技術セミナー ・第1回ロボット・ソフトウェア検討会
8月	・第1回ロボット部材開発検討会
9月	
10月	・第1回ドローン活用検討会 ・RADIEX2018又は危機管理産業展への共同出展 (廃炉・災害対応ロボット研究会) ・メディカルクリエーションふくしま2018 (H30.10.18～19) @ビッグパレットふくしま ・ジャパンロボットウィーク (H30.10.17～19) @東京ビッグサイト
11月	・ロボットフェスタふくしま2018 (H30.11.22～23) @ビッグパレットふくしま ・廃炉・災害対応ロボット研究会 マッチング会
12月	・第2回ロボット・ソフトウェア検討会 ・廃炉・災害対応ロボット関連技術展示実演会
31年 1月	・廃炉・災害対応ロボット研究会 第2回技術セミナー ・第2回ドローン活用検討会
2月	・第2回ロボット部材開発検討会
3月	・ロボット関連事業研究開発成果発表会



ロボットフェスタふくしま2017



平成29年度 研究開発成果発表会

※ 平成30年度行事等予定については、今後変更となる場合があります。

廃炉・災害対応ロボット研究会 (H29活動実績)

(代表:福島県ハイテクプラザ所長) 事務局:福島県ハイテクプラザ



設立目的

- ・ 廃炉関連分野及び災害対応分野への県内企業の参入を支援する。
- ・ 関連分野の技術情報の共有・交流等を通して、関係機関等とのネットワーク構築を目指す。

概要 (H30.3.31現在)

会員数 85機関
受注数 19件 打診数 11件

マッチング会

- 平成29年11月17日(金)
- 鹿島建設株式会社との技術情報の共有・交流会
会員7社から鹿島建設株式会社に技術プレゼンテーション

第2回福島第一廃炉国際フォーラム

- 平成29年7月3日(月)/いわきワシントンホテル
- 会員3社と共同出展、ロボット展示、技術ポスターセッション

技術セミナー

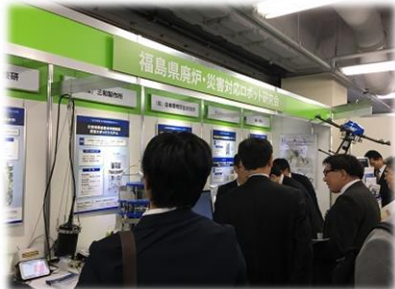
- ① 平成29年9月20日(水)/白河市小峰城の石垣修復等
- ② 平成29年12月6日(水)/消火活動と消防ロボット開発等
- ③ 平成30年3月8日(木)/災害後の環境モニタリング等

RADIEX2017 (環境放射能対策・廃棄物処理国際展2017)

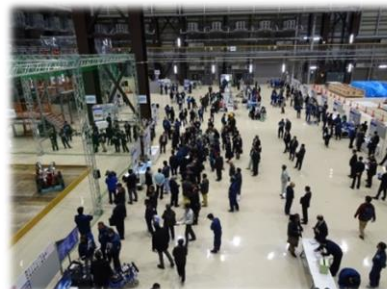
- 平成29年10月18日(水)～20日(金)/科学技術館(東京都)
- ブース来場者数903名
会員5社と共同出展、ロボット展示、技術ポスターセッション

福島県内企業・大学 廃炉・災害対応ロボット関連技術展示実演会

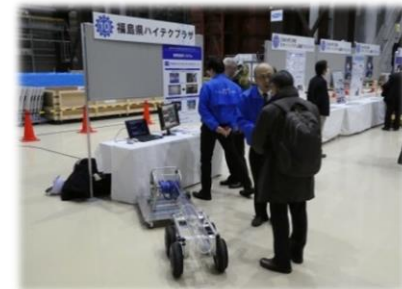
- 平成29年12月20日(水) 13:00～16:00
/JAEA櫛葉遠隔技術開発センター
- 来場者数525名
出展ブース数 26件(32企業・団体)、ロボット実演 8件、
技術・製品等の展示 18件、出展者プレゼンテーション 4件



RADIEX2017



福島県内企業・大学 廃炉・災害対応ロボット関連技術展示実演会



廃炉・災害対応ロボット研究会 (H30活動計画案)

(代表:福島県ハイテクプラザ所長) 事務局:福島県ハイテクプラザ



平成30年度の方向性

- ・ 廃炉関係機関に会員の保有技術等を紹介し、廃炉関連事業への参入を支援する。
- ・ 廃炉関係機関の技術課題等を収集し、会員に情報提供することで新規ビジネスにつなげる。
- ・ 災害対応関連機関とネットワークを構築し、会員の保有技術等を展示会等で紹介する。

関連展示会への出展

RADIEX2018(環境放射能対策・廃棄物処理国際展2018) 又は 危機管理産業展

- 平成30年10月10日～12日/東京都
- 会員数社と共同出展、ロボット展示、技術ポスターセッション

廃炉・災害対応ロボット関連技術展示実演会

- 平成30年12月頃/JAEA櫛葉遠隔技術開発センター(予定)
- ロボット実演、技術・製品等の展示、技術プレゼンテーション 等

マッチング会

- 平成30年11月頃
- 東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に携わる企業等との技術情報の共有・交流
会員数社による技術プレゼンテーションを実施

技術セミナー

- 平成30年7月頃、平成31年1～2月頃
- 関連分野の現場で必要な技術要件について、現場と会員企業が意見交換や情報交流を行う。

その他

廃炉関係機関の発注情報に応じたマッチング機会の創出
コーディネーターによる個別支援、各種最新情報の提供 等

ロボット部材開発検討会 (H29活動実績)

(代表: 福島大学 高橋隆行)



第1回ロボット部材開発検討会

- 開催日時
平成29年7月28日(金) 13:30~15:30
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 参加者数
57名
- 開催内容
 - ・ ロボット部材開発検討会の進め方について
 - ・ ロボット部材に関わる県内企業の取組と意見交換
(株)キャスト(及び白河素形材ヴァレー)
丸隆工業(株)

第2回ドローン活用検討会・ロボット部材開発検討会

- 開催日時
平成29年12月14日(木) 13:30~16:00
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 参加者数
51名
- 開催内容
 - ・ 日本産業用無人航空機工業会(JUAV)の紹介と無人航空機の安全基準について
 - ・ 無人航空機に必要とされる部材・システムについて
(株)エンルートM's(現:イームズロボティクス(株))
(株)菊池製作所
フジ・インバック(株)

ロボット部材掘り起こし隊

- 目的
県内企業が有するロボット部材開発に係る技術を掘り起こして、広く県内外に紹介する。
- 日程
平成29年8月8日(火)~11月14日(火)
- 訪問企業数
17社
- 成果物
「R・B・T」冊子の発行

ロボット関連事業研究開発成果発表会

- 開催日時
平成30年3月20日(火)
- 開催場所
ビッグパレットふくしま コンベンションホール
- 開催内容
「大学から見た企業がもつロボット要素技術への期待」高橋隆行(福島大学)

ロボット部材開発検討会 (H30活動計画)

(代表: 福島大学 高橋隆行)



平成30年度の方向性

- ロボット部材掘り起こし隊の活動を継続
- 県内企業の、ロボット開発に係る特徴ある技術の発掘と宣伝方法の検討
- 県内外の産産連携, 産学連携の企画と公的資金獲得の支援

第1回ロボット部材開発検討会

- 開催予定
平成30年8月
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 開催内容
 - ・ 活動方針の説明
 - ・ 「ロボット部材掘り起こし隊」の計画

第2回ロボット部材開発検討会

- 開催予定
平成31年2月
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 開催内容
 - ・ 活動のまとめ
 - ・ 「R・B・T」vol.2 のお披露目

ロボット・ソフトウェア検討会実績（平成29年度）

（代表：会津大学復興支援センター教授 屋代 眞）



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成29年度の方向性

- ソフトウェア・ハードウェア両面を理解した技術者（dual-ware engineers）育成。
- ワールドロボットサミット出場に向けた基礎技術とチーム作り。

活動実績

○ 第1回 ロボットソフトウェア（8月2日@福島県ハイテクプラザ）

- セミナー
 - コマツにおけるICT活用、ソフトウェアから見たロボット開発、標準ソフトウェアとOpenRTM
- OpenRTM講習会（初級 8月25日@南相馬、中級 9月29日@郡山）

○ 第2回 ロボット応用事例・ワールドロボットサミット（11月2日@福島県ハイテクプラザ）

- セミナー
 - Industry4.0や製造現場でのIoT活用について、知能化技術とロボットネットワーク、ワールドロボットサミット2020・プレ大会2018
- OpenRTM講習会（上級 12月@会津）

○ 第3回 ロボットシミュレータ（2月28日@福島県ハイテクプラザ）

- セミナー
 - クラウドロボティクスとロボットの知能化、ロボットシミュレータ（Choreonoid概説）、プレ大会シミュレータ実演・体験
- 会津大学ロボットシンポジウム（3月23日）

ロボット・ソフトウェア検討会 (H30活動計画)



平成30年度の方向性

- 今後のロボット事業のコアとなるロボット・ソフトウェア技術の紹介とコミュニティづくり
 - ロボットを活用したソリューション、WRSロボットにおけるソフトウェア技術、等
- ソフトウェア・ハードウェア両面を理解した技術者（dual-ware engineers）育成

第1回ロボット・ソフトウェア検討会（案）

- 開催予定
平成30年7月
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 開催内容
 - 活動方針の説明
 - 講演
 - IoT・ロボットを活用したソリューション事例
 - ロボット設計とDualware engineering

第2回ロボット・ソフトウェア検討会（案）

- 開催予定
平成30年12月
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 開催内容
 - 講演
 - クラウド（FIWARE）を活用した受付ロボット実証実験報告
 - IoT・ロボットネットワークセキュリティ
 - WRS（プレ大会）参加報告とRTF活用

※ 活動計画(案)は会員のニーズ等を踏まえて今後修正する可能性があります。

ドローン活用検討会 (H29活動実績)

(代表: 福島県ロボット産業推進室)



第1回ドローン活用検討会

- 開催日時
平成29年8月23日(水) 13:30~16:00
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 参加者数
130名
- 開催内容
 - ・ ドローンに関する制度・規制の現状と今後の制度整備について(JUTM)
 - ・ 事例紹介
(株)エンルートM's(現: イームズロボティクス(株))
渡辺エンジニアリング(株)
南相馬市ロボット産業推進室・危機管理課
(株)スペースワン

第2回ドローン活用検討会・ロボット部材開発検討会

- 開催日時
平成29年12月14日(木) 13:30~16:00
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 参加者数
51名
- 開催内容
 - ・ 日本産業用無人航空機工業会(JUAV)の紹介と無人航空機の安全基準について
 - ・ 無人航空機に必要とされる部材・システムについて
(株)エンルートM's(現: イームズロボティクス(株))
(株)菊池製作所
フジ・インバック(株)

ロボット関連事業研究開発成果発表会

- 開催日時
平成30年3月20日(火)
- 開催場所
ビッグパレットふくしま コンベンションホール
- 開催内容
 - ・ ドローンを活用した災害対応等への取組事例紹介



ドローン活用検討会 (H30活動計画)

(代表: 福島県ロボット産業推進室)



平成30年度の方向性

- ・ドローンメーカー、部材メーカー、ユーザーに共通する関心事項について幅広く検討。
- ・県内で開発・製造されたドローンが様々な現場でより一層活用されるよう周知・広報を実施。

第1回ドローン活用検討会

- 開催予定
平成30年10月
- 開催場所
福島ロボットテストフィールド
- 開催内容
 - ・ JUTM飛行実証試験の視察
 - ・ 福島ロボットテストフィールドの視察
 - ・ ドローン運航管理システム(UTM)の現状と今後



第2回ドローン活用検討会

- 開催予定
平成31年1月
- 開催場所
福島県ハイテクプラザ多目的ホール
- 開催内容
 - ・ イノベ実用化補助金でのドローン開発事例の紹介
 - ・ 物流での活用と目視外飛行のルール
 - ・ 点検での活用と点検要領での扱い



※ 活動計画(案)は会員のニーズ等を踏まえて今後修正する可能性があります。

医療・生活支援ロボット検討会

(代表:福島県医療関連産業集積推進室)



1 平成29年度の活動実績

- ① 平成29年8月24日(木) 「平成29年度第2回福島県医療福祉機器産業協議会」内
・講演「チームによる医療機器開発～RENGの活動を通して～」
- ② 平成29年10月26日(木) 「メディカルクリエーションふくしま2017」内
・ロボットセミナー「人支援ロボット開発と産学官連携の取組」

2 課題

- 平成29年度は医療福祉機器産業協議会との併催・連携による実施
- 医療福祉機器産業協議会の再編(平成30年度～)

3 平成30年度の方針

- 検討会の取組を医療福祉機器産業協議会に一本化
- ロボット産業推進協議会と医療福祉機器産業協議会との相互連携
【連携(例)】・相互のメールマガジンの配信 ・冊子「RBT」への掲載
・ロボフェスへの出展 など

医療・生活支援ロボット検討会

(代表:福島県医療関連産業集積推進室)



<参考> 福島県医療福祉機器産業協議会について

経緯・目的

- 平成17年9月、医療・福祉機器分野への新規参入促進を目的に、協議会の前身である「福島県医療福祉機器研究会」を設立。
- 平成27年2月、これまでの勉強会的組織からビジネス交流に主眼をおいた「福島県医療福祉機器産業協議会」へと発展。
- 平成30年度から会費制を導入するなど、協議会の再編を実施。

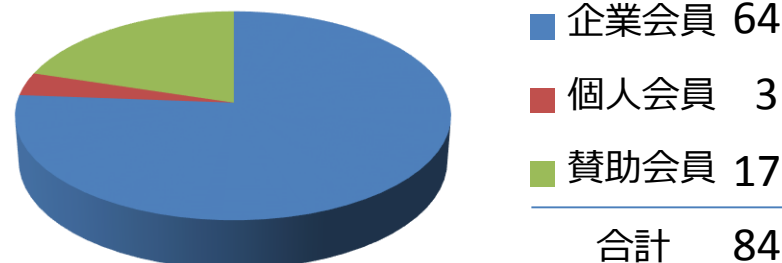
活動内容

- ◆ ビジネス交流会(マッチング)
- ◆ 医療福祉機器の開発支援
- ◆ 技術動向や関係法令等に関するセミナーの開催
- ◆ 情報共有のためのホームページ運営

<分科会>

- ◆ 海外ビジネス研究分科会
- ◆ 整形インプラント製品国産化研究分科会

会員の状況



※平成30年5月10日現在

◆ 会費(平成30年度~)

企業会員 20,000円、個人会員 5,000円